



## GCM総会

1. GCMの紹介
2. 活動報告
3. 活動予定



## GCMの発足

- GCMのルーツは、沼津市の東海大学 開発工学部と地域医療機関関係者などで 2000年5月に設立した **「静岡県東部地区遠隔医療研究会」**である。
- その後、2008年7月に静岡県東部地区と首都圏とのネットワーク連携を目指す新たな **「広域連携医療ネットワークシステム研究会」**へと展開してきた。

## GCM研究会の設立趣旨

- GCM研究会は、医療機関およびこれに関連する研究機関と広域的な連携をはかり、クラウドコンピューティングなどによる最先端技術をベースに医療情報システムICT化の研究・開発を進め、僻地まで含めた地域医療の発展と住民の健康・福祉に寄与することを目的として活動する。
- 本研究会はNPO法人広域連携医療福祉システム支援機構との連携により、その目的を達成するために次の事業を推進する。

## 主な事業

- (1) 研究会、分科会等の学術的会合を定期的で開催し、産学連携により地域医療や健康福祉に貢献する研究を進める。
- (2) 医療や福祉など臨床側と積極的に交流を図り、先端ICT技術を駆使し、真に役立つシステムの実用化を検討する。
- (3) 研修会開催や大学間交流などを支援し、学生をはじめ幅広く医療・福祉にかかわる人材の育成を図る。
- (4) その他GCM発足の趣旨・目的を達成するために必要な事業に取り組む。

## 活動状況

- (1) 研究集会の開催  
産官学および医工連携により、研究集会を春と秋の年2回開催し、広域連携医療福祉に関する研究交流を深めている。都合11回開催。
- (2) 分科会活動  
臨床ニーズに基づき臨機応変に「医療クラウド」などの分科会を立ち上げ、広域連携医療福祉に係る様々な問題解決に挑戦している。
- (3) 研修会の開催  
静岡県三島市医師会との連携により、三島市を中心に沼津市など近郊の医師会所属の臨床医に対し、クラウドなど最新のICTについて2回の研修会を開催した。
- (4) その他  
その他地域社会のニーズに対し、臨機応変に対応する。  
なお、これまでに登録された会員メンバーは大学、企業、医療機関など67名。

## NPOの設立

地域医療活性化への貢献を目指した任意団体「広域連携医療ネットワークシステム研究会GCM」の更なる発展を目指して内閣府へ特定非営利活動法人設立の申請を行い、平成23年8月15日に認証通知を受理し、8月25日付けで法人成立となる。

## GCMとNPOとの関係

- GCMは組織的には、NPO法人「広域連携医療福祉システム支援機構」の管理下に置き、GCMでの研究成果が地域社会における社会貢献や高度な医療福祉システムの普及に結び付くよう連携して活動する。
- 一方、NPOはGCMとの緊密な連携のもとに地域医療福祉に関するニーズの高い社会貢献テーマについて必要に応じ産学でプロジェクトを構成し、モノづくりに取り組むことを可能とする組織である。

## 24年度活動報告

(24. 10. 1~25. 9. 3)

### (1) GCM9の開催

#### キャッチフレーズ

「NPO法人発足1周年を迎えて—GCMの役割と課題—」

東海大学高輪校舎、24. 10. 6 実行委員長 濱本和彦教授

「特別講演」「IT活用で乗り越える放射線汚染」

日本サードパーティ（株）佐伯康雄氏

分科会活動報告、学生セッション5件

### (2) GCM10の開催

#### キャッチフレーズ

「設立満5周年記念大会—新たな展開に向けて」

関東学院大学、25. 5. 30 実行委員長 秋本真喜雄氏

「特別講演」「デジタル画像処理研究開発—医用画像処理を中心

に—」 元福井大学教授渡辺貞一氏

学生セッション3件、企業紹介 2件

## 25年度(前半)活動報告 (25.10.1~現在)

- (1) 第一回GCM/NPO交流フォーラム開催  
25.11.14 東京医療保健大学  
GCMとNPOが協力し、広域医療福祉連携の早期実現に向けた討論会
- ・企業でのシーズ中心の研究開発事例紹介を中心に  
田島クリニック田島博山院長を迎え討論
  - ・GCM版FB設立の紹介  
グループ内ではセキュリティ対策が完備  
現在 7名

## 25年度(後半)活動計画 (現在~26.9.30)

- (1) GCM11の開催  
高雄元晴実行委員長(東海大学)
- (2) FBの定着と発展  
メンバー増対策など。
- (3) 第二回GCM/NPO交流フォーラム  
26年9月頃開催予定
- (4) ホームページの充実  
電子予稿集の発行など対外PRに努める